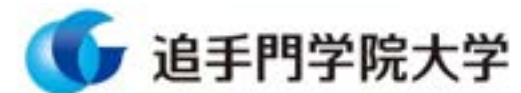


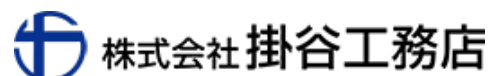
※2023.7.28現在

2023年度 大阪城イノベーションヒルズアカデミー（OIA） 企業研修プログラム

主催



協賛



大和リース株式会社



■主旨 ～関西地域共創拠点を目指して～

- ・ Cultivation Park。経済・ビジネスの未来を開拓（Cultivation）していく（Park）のこと。
『次世代の経営人材としてのマインドを持った仲間が集い、知と技を磨き交流する、学びの遊び場』がコンセプトです。
- ・ プログラムは、“次世代経営人材の涵養”をコンセプトとして、高度な理論と実践の融合を図りつつ、実社会で活かせるための学びを提供します。
- ・ 学ぶことだけでなく、ビジネスコミュニティが形成できる場、すなわち、関西地域共創拠点として機能させていきたいと考えています。



■価値 ～3つの価値を提供～

次世代経営人材に不可欠な ビジネス理論と教養

経営人材に求められる素養、能力、スキルを身につける体系的なカリキュラムをご用意。卓越したビジネスパーソンの「共通言語」習得をサポートします。

ベストプラクティス（最適解） の共有や新たな価値創造の機会

講師陣や受講生との関係構築によって、業務におけるベストプラクティス（最適解）の共有、複合領域的共同研究（新たな価値創造の機会）を生み出す“場”として活用できます

業界を越えて高め合える 次世代経営人材ネットワーク

同窓生となるのは、様々な業種の、近しい志を持った次世代経営人材。生涯にわたって助け合い、学びあう仲間たちとのネットワーク構築の機会を提供します。

理論と実践プログラム【定員30名、セッションマネージャークラス】

- ・ 大学講師と各業界の様々な経営者とのコラボによる理論と実践をあわせた講義を実施
- ・ 経営に必要なテーマについて、経営的視座による知識の習得とケーススタディにより、実践的かつ理論的な思考を確立
- ・ 初回と最終回に受講者間のネットワーキングのためのイブニングミーティングの場を設定
- ・ 2週間に1回ペース（13：00～18：00）× 全10回
- ・ 講義の主な流れ ※担当講師によって異なる
 - ① 当日テーマの概要説明（テーマの解説、テーマの学問上の位置づけ）
 - ② 実務家講師による講義
 - ③ グループワーク、ケーススタディ（グループ討議）→ まとめ（発表など）
 - ④ 当日テーマに関する学びの理論（参考文献紹介、テーマに関しての今後の学び方解説など）

理論と実践プログラム-講義内容-

日程	講義内容		
	テーマ	学びのコンセプト	講師
<第1回> 2023年10月7日（土） @ホテルグランヴィア大阪	会社とは何か ～企業の価値創造～	・会社の基本原理 ・会社の伝統と未来 ・企業の価値創造	(株)東芝 代表執行役社長CEO 島田太郎 氏
<第2回> 2023年10月21日（土） @大阪デザインセンター	ロジカルシンキング ～経営課題解決の知の技法～	・クリティカルシンキングの理解 ・ソリューションへ導き仮設思考 ・ソリューションへ導く知の技法	(株)リクルート リクルート進学総研所長・カレッジマネジメント編集長 小林浩 氏
<第3回> 2023年11月3日（金） @大阪デザインセンター	リーダーの心得 ～リーダーシップ論～	・組織のミッションとリーダーシップ ・リーダーシップの深堀り ・リーダーシップスタイルの変化	(株)TM Future 代表取締役 公益財団法人日本バスケットボール連盟理事他 竹内美奈子 氏
<第4回> 2023年11月18日（土） @大阪デザインセンター	マーケティング	・マーケティング戦略 ・消費者行動論 ・ブランディングマネジメント	（候補者打診中）
<第5回> 2023年12月2日（土） @大阪デザインセンター	会社の価値を分析する ～数字で会社の価値を把握する～	・会社の価値の捉え方理解 ・会社の価値を図る技法 ・M&A戦略と事例	(株)T2 代表取締役CEO 下村正樹 氏
<第6回> 2023年12月16日（土） @大阪デザインセンター	食を通してビジネススキルを高める ～経営者・キャリアに必要な食の知識～	・食を通じたコミュニケーションとホスピタリティ ・日本の食文化の基礎知識 ・西洋の食文化の基礎知識とワイン・食卓外交	知的食空間研究所 所長 帝塚山学院大学講師・辻学園調理製菓専門学校講師 井上節子 氏
<第7回> 2024年1月13日（土） @大阪デザインセンター	会社の価値を高める ～エンタメ業界における人材発掘～	・人材の評価方法 ・人材の教育方法 ・人材価値と会社価値の関係性	(株)北海道日本ハムファイターズ GM補佐兼スカウト部長 大淵隆 氏
<第8回> 2024年1月27日（土） @大阪デザインセンター	経営戦略を見極める ～戦略の分析から展開へ～	・戦略的な分析に用いられる技法の点検 ・分析手法の基本原理と各手法の限界 ・成功戦略と事例	(株)ガバメイツ 代表取締役社長 （元コニカミノルタパブリック(株)代表取締役社長） 別府幹雄 氏
<第9回> 2024年2月10日（土） @大阪デザインセンター	人を動かす、組織が動く ～人的資源管理～	・戦略的人材組織マネジメント ・組織における人間行動 ・ビジネスコーチング	(株)Tsutomu FUSE 代表取締役 PhD Sport Psychology Services 応用スポーツ心理学博士 布施努 氏
<第10回> 2024年2月23日（金） @ホテルグランヴィア大阪	イノベーションのための経営システム ～事業創造に関するマネジメント～	・新規事業 ・事業の成功と失敗 ・持続成長戦略	公益財団法人日本バドミントン協会会長 （元Jリーグチェアマン） 村井満 氏

講師	経歴
(株)東芝 代表執行役社長 CEO 島田太郎 氏 	1990年に新明和工業に入社、航空機開発に従事。1999年にPLM会社SDRCに転職。2010年に日本法人社長兼米国本社副社長に就任。2018年10月に東芝に入社、コーポレートデジタル責任者として、グループ全体のデジタルトランスフォーメーション事業の拡大に向けた戦略的な指揮を執りながら、産官学連携によるデジタルビジネス創出の仕組み作りなどを推進。2020年4月からは執行役上席常務、22年3月から代表執行役社長CEO。
(株)リクルート リクルート進学総研所長 カレッジマネジメント編集長 小林浩 氏 	早稲田大学卒業後、(株)リクルート入社。「ケイコとマナブ」企画業務を経て、大学・専門学校の学生募集広報などを担当。経済同友会に出向し、教育政策提言に関わる。その後、経営企画室、会長秘書、特別顧問政策秘書などを経て2007年より現職。文部科学省中央教育審議会高大接続部会などの各種委員を歴任、現在は中央教育審議会大学分科会教学マネジメント特別委員会委員、大学基準協会広報委員、日本高等教育評価機構広報委員などに就任。
(株)TM Future 代表取締役 公益財団法人 日本バスケットボール協会理事 他 竹内美奈子 氏 	NECの人材開発、ITシステム構築統括を経て、2003年グローバル人材コンサルティング会社に転職、2007年代表取締役副社長。2013年TM Future起業。人材育成、組織開発、リーダーシップ開発等を中心に、ガバナンス構築や組織改革での経営者支援、女性リーダー育成に取り組む。一般社団法人日本車いすバスケットボール連盟副会長、公益財団法人日本バスケットボール協会理事。また、株式会社日本M&AセンターHD、株式会社滋賀銀行他で社外役員を務める。
(株)T2 代表取締役CEO 下村正樹 氏 	1991年4月三井物産(株)入社。Emory Univ. Goizueta Business school卒(MBA)、一橋大学大学院国際企業戦略研究科博士後期課程中退(経営法修士)。その後、在インド・フィリピン・ロシアの同社子会社の経営を担い、2022年9月から株式会社T2代表取締役CEO(自動運転技術を活用した幹線輸送サービス事業)に就任。2023年6月から慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究所研究員、元名古屋大学未来社会創造機構、追手門学院大学、群馬大学客員教授。
知的食空間研究所 所長 帝塚山学院大学講師 辻学園調理製菓専門学校講師 井上節子 氏 	大学卒業後飲料会社に入社。大手食品卸と市場開拓を担当。5年後にVMDで独立。自らのレストラン経営及び食空間プロデューサーとして食関連事業の運営から人材育成まで企業・学校を中心に活動中。伝統文化(書/茶/花)に携わり日本及び世界の食文化について幅広い視点を持つ。テーブルアーティスト(JTAA認定講師)、シニアソムリエ(JSA認定)、コンセイエ(SOPEXA認定)、調理師/フードコーディネーター(JFCA認定)、書道師範(近畿経済産業局長賞受賞(篆刻))、農業者(JA組合員)。

①理論と実践プログラム-講師陣紹介-

講師	経歴
(株)北海道日本ハムファイターズ GM補佐兼スカウト部長 大淵隆 氏 	早稲田大学にて硬式野球部に所属して六大学野球でベストナインを獲得。その後、IBMに就職。ITに関わる仕事の傍らで、海外で野球を学ぶ。退社後、高校教員を経て、日本ハムファイターズのスカウトに転身。2007年にスカウトディレクターに就任し、GM制度の導入やBOSの導入など、これまでの規定概念に捉われない球団改革を実施。球団改革の経緯、組織・人材マネジメント及び選手の間人教育等、球団の組織改革を手掛ける。
ガバメイツ(株) 代表取締役社長 別府幹雄 氏 	富士ゼロックス株式会社入社、5年の新規開拓営業を担当。会社派遣で大学院に留学、国際関係学修士取得。その後、シカゴ・シンガポール・上海に各三年ずつ駐在を経験、米国時代にMBA取得。2013年よりコニカミノルタの国内直販営業部隊を牽引、現在、コニカミノルタ株式会社関西支社副支社長兼One Konica Minolta 推進室長、コニカミノルタジャパン株式会社 執行役員を経て、コニカミノルタの自治体DX部門とチェンジ株式会社の合資によるガバメイツ株式会社の代表取締役社長として現在に至る。
(株)Tsutomu FUSE, PhD Sport Psychology Services 代表取締役 布施努 氏 	慶応大学卒業後、住友商事(株)入社。14年間の勤務を経て、米国留学スポーツ心理学を専攻、ノースカロライナ大学グリーンズボロ校にてPhD取得後、同社を設立。日本代表チーム、五輪選手、各カテゴリー日本一チーム等の指導、監査法人トーマツ等の大手企業チームビルディング等の講師を請け負う。慶応大学スポーツ医学研究センター研究員。NPO法人ライフスキル育成協会代表。メディア出演多数。
公益財団法人 日本バドミントン協会会長 (元Jリーグチェアマン) 村井満 氏 	早稲田大学卒業後、1983年日本リクルートセンター（現リクルートホールディングス）に入社し、人事担当の役員、リクルートエージェント（現株式会社リクルート）社長、香港法人の社長、会長などを歴任。2014年1月Jリーグチェアマンに就任。Jリーグの財政基盤を立て直し、新型コロナウイルス対策にも手腕を発揮。2022年3月に退任。2022年4月（株）ONGAESHI Holdingsを設立し、代表取締役CEOに就任。スポーツやエンターテインメント産業の活性化にも取り組む。現在はバドミントン協会会長。
総合司会・ファシリテーター	経歴
塩次喜代明 氏 九州大学名誉教授 	九州大学卒業後、神戸大学経済学研究科修了。松山大学を経て、九州大学経済学部教授。2003年九州大学のMBAの設立に尽力し、九州大学産業マネジメント専攻の初代専攻長に就任。その間、産学連携機構九州設立に尽力する。九州大学産業マネジメント専攻の初代専攻長、文理統合大学院の統合新領域初代学府長に就任。その間、産学連携機構九州設立に尽力する。現在、九州生産性本部理事副会長。
宮宇地 俊岳 氏 追手門学院大学副学長 経営学部 経営学科 教授 	早稲田大学政治経済学部卒業、京都大学大学院経済学研究科博士課程修了。京都大学博士（経済学）。専門分野は財務会計・ファイナンス。M&A実施企業のパフォーマンスや買入のれんの事後的会計処理を主たる研究対象とする。のれんの会計処理問題について、日本会計研究学会のスタディ・グループのメンバーに選出。朝日新聞（近畿版）にて、「NMB48」×「インベスターZ」（ドラゴン桜の作者の作品）×「追手門学院大学」の三者コラボ企画として「レッツスタディー経済編」の連載をもつ。2023年4月から追手門学院大学副学長。